

2026 年 4 月 30 日

学校での健康教育を支援する教職員向け「大塚製薬の教材・資料集」を公開

熱中症対策や食育などの電子版健康教材を無償提供

大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:井上 眞、以下「大塚製薬」)は、教育機関における健康教育の支援を目的として、小学校・中学校・高校向けの電子版健康教材を無償で提供する「大塚製薬の教材・資料集」を新たに公開しました。当サイトでは、当社がこれまで培ってきた健康に関する知見を活かし、熱中症対策や食育など、学校での授業等に活用可能な教材を体系的にまとめて紹介しています。

大塚製薬の教材・資料集: <https://www.otsuka.co.jp/education/>



近年、子どもたちを取り巻く健康課題として、社会の多様化を背景に各ライフステージに応じた健康づくりの重要性¹が指摘されています。また、学校現場では、限られた時間や人員の中で、適切な補助教材を有効に活用すること²が求められています。大塚製薬は企業理念のもと、世界の人々の健康に貢献するため、科学的根拠に基づく製品開発とともに、研究開発で得た知見を活かした健康情報の発信・啓発に取り組んできました。特に熱中症対策においては、30年以上にわたり、スポーツや学校、暑熱環境下の職場など、幅広い世代やシーンを対象に、水分・電解質補給の重要性を伝える啓発活動を継続しています。

当サイトでは、小学校・中学校・高校の各年代に応じた健康教育用の電子版教材について教職員を対象に提供します。授業やホームルーム、部活動での指導、ほけんだよりなど、教育機関が行うさまざまな健康教育での活用を想定しています。また、教材はすべて無償で、Web上から閲覧・ダウンロードできます。学習指導要領に基づいた教材も用意しており、全国の学校や教育関係者が利用しやすい環境を整備しました。当サイトで提供する教材を通じて、子どもたちが自らの健康について主体的に考え、行動する力を育む健康教育の一助となることを目指します。

1 厚生労働省 健康日本 21(第三次) 国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針

2 文部科学省 学校における補助教材の適正な取扱いについて(通知)

■小学校向け教材・資料(一例)

-食育に関する授業用教材セット

児童にとって身近な給食をテーマに、5 大栄養素の種類や働きを理解することで、バランスのよい食生活の実践を促す教材セットです。講義スライドやワーク題材、動画・デジタル教材などを通じて、児童の興味関心・進度にあわせた授業の設計が可能です。



<その他の小学校向け教材>

- ・熱中症に関するスライド資料
- ・ほけんだより(熱中症・暑熱順化/乾燥対策)
- ・食育ワークショッププログラム「もぐもぐタウンで学ぶ！めざせ！食べものマスター！」

■中学校向け教材・資料(一例)

-熱中症・水分補給に関する授業用教材セット

生活に身近なクイズなどを通じて、水分の役割やカラダから水分が失われる仕組みなど、カラダと水分の関係を学びます。動画や指導案がセットになっており、保健体育の授業でも活用できます。



(監修:細川 由梨 先生[早稲田大学 スポーツ科学学術院 准教授])

<その他の中学校向け教材>

- ・ほけんだより(熱中症・暑熱順化)

■高校向け教材・資料(一例)

-熱中症に関するスライド資料

熱中症や発汗の仕組み、水分補給の方法など夏本番に向けて気をつけるポイントをわかりやすく解説しています。



(監修:公益財団法人日本学校保健会)

<その他の高校向け教材>

- ・高校生のためのコンディショニングに関するスライド資料
- ・運動部活動生のためのコンディショニングに関するスライド資料
- ・ほけんだより(熱中症・暑熱順化)

■教材・資料のダウンロード方法

教材・資料は、「健康情報提供サイト」に会員登録することで、無償でダウンロードできます。必要な資料を選択し、ダウンロードしてご活用ください。

大塚製薬は、今後も Otsuka-people creating new products for better health worldwide の企業理念のもと、人々の健康維持・増進に貢献してまいります。

【参考】

■大塚製薬の熱中症対策の取り組み

大塚グループの第4次中期経営計画では、注力する社会課題の1つに「地球環境」を掲げています。気候変動の影響により世界各地で猛暑日や熱帯夜が増加する中、気温上昇に伴う体調管理や暑熱対策といった健康課題への対策がさらに重要になっています。

47都道府県をはじめ、800以上の全国の自治体との健康に関する包括的な連携協定の締結に加え、2023年には環境省初となる熱中症対策推進に関する連携協定を締結するなど、様々なステークホルダーと協働で、水分・電解質補給やプレクーリングなどの情報提供を推進しています。自治体・学校・企業等を対象に、熱中症対策の啓発・普及に必要な専門知識を提供する「熱中症対策アンバサダー®講座」の主催(特別協力:独立行政法人環境再生保全機構、後援:環境省・文部科学省・農林水産省)や、学校向け教材「水と健康」の提供など、正しい情報を伝えていただける仕組みづくりを行っています。

■大塚製薬の食育の取り組み

栄養についての情報提供に加え、近年ではデジタル技術を活用した取り組みにも注力しています。若年層やその保護者に対してAIテクノロジーで楽しく栄養を学べる食育アプリ「おいしいおえかきSketchCook」(2018年)、ARを活用した食育ゲームアプリ「もぐもぐタウン」(2024年)を展開しています。2026年4月には「もぐもぐタウン」を通じて各団体と連携した取り組みが評価され、農林水産省が主催する「第10回食育活動表彰」教育関係者・事業者部門 企業の部において、審査委員特別賞を受賞。また、従業員を対象にした食育や健康づくりにおいて、自社の知見や栄養モニタリングサービス「Vivoo」を活用した取り組み等を実施したことが評価され、農林水産省が新たに創設した「食育実践優良法人2026」に認定されました。

大塚製薬について

大塚製薬は、一人ひとりの可能性に向き合うトータルヘルスケアカンパニーです。

“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、未充足の医療ニーズに新たな価値を提供する医療関連事業と、科学的根拠をもった独創的な製品やサービスにより日々の健康維持・増進をサポートするニュートラシューティカルズ関連事業を通じて、人々のウェルビーイングの実現に向けて取り組んでいます。

詳細はコーポレートサイト www.otsuka.co.jp をご覧ください。